



植物分類表

Syllabus of the Vascular Plants of Japan

大場秀章 編著

6
大
特
徴

- 1 DNA系統解析を反映した「最新分類体系」に準拠
- 2 470科2600余属10000余種を世界標準の新体系で配列
- 3 科・属に「学名」「和名」を表示、属学名に「カナ読み」を附す
- 4 植物分類体系の変遷を詳述
- 5 新旧分類の主な相違を解説
- 6 詳細な学名・和名索引

NPO 法人栽培植物分類名称研究所 編集協力

植物専門家からビギナーまで必携の書

シダ植物、裸子植物、被子植物からなる高等植物（維管束植物）を分類体系の順序に従って配列したのが本書である。

本書が採用した分類体系は、現在の植物分類学の水準を最もよく反映していると考えられるマバリー (D.J.Mabberley, 2008年) のものである。この体系はクビツキー (K.Kubitzki, 1990年-) を基礎に、分子系統学の立場から提案された見解 (APG II, 2003年) を勘案して構築されたものである。ただし、この分類体系は、日本で普及してきたエングラール (H.G.A.Engler) の分類体系とかなりの相違点がある。

そのため、利用の便をはかる目的で、エングラールなどの分類体系での科名をカッコ内に示しておいた。また、エングラールなどの体系との変更がとくに大きい科については、これを一覧として掲げ、若干の解説を加えた。さらに、分類体系への理解を深める目的で分類体系の考え方と体系の歴史の変遷を解説した。

本書を通じて植物の分類上の位置への理解が深まり、研究や教育、社会生活に役立つことができれば幸いである。

本書「まえがき」より

■定価 本体 3333円＋税

【本書の内容】

本文：最新の植物分類体系に基づいて収録植物（約2600属と約10000種）を470科に分類掲載（旧分類も明記）
全科／収載属に「和名」、
属学名に「カナ読み」を附す

解説：植物分類体系の変遷
科が変更された主な属の一覧、他

索引：「学名索引」、「和名索引」

【本書の体裁】

四六判 並製 4色カバー装 総568頁

CULTA紹介

NPO法人栽培植物分類名称研究所（略称：CULTA）植物の情報を的確に伝えるため、適切な名前を用いることを啓発・普及するために2005年に設立されたNPO法人。



編著者 大場秀章
東京大学名誉教授／NPO法人栽培植物分類名称研究所理事長

本書の姉妹本の紹介

『国際栽培植物命名規約』
第7版 日本語版／本邦初訳

植物に名前をつけるためのルールブック。栽培植物の名前の安定化を図り、命名の規則と勧告を豊富な実例とともに載せる国際規約。学名や栽培品種名を理解するための必携書。限定500部。



本書および『国際栽培植物命名規約』は植物検索Q&Aナビ「はなせんせ」を主催するNPO法人栽培植物分類名称研究所 (CULTA) の関連図書です。右記webサイトからも本書をご注文いただけます。

はなせんせ

検索

株式会社 アボック社

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-13
Tel:0467-45-5119/Fax:0467-45-6591

e-mail:puborder@aboc.co.jp http://www.aboc.co.jp

キリトリせん

本書のお申込みはアボック社へファクスで (0467-45-6591) / または、最寄りの書店へ。

植物分類表 注文書	おなまえ	お申込み冊数	書店記入欄
	おところ 〒 -	冊	
	E-mail: おでんわ -		

(100331)